

【事業名】 地産地消型再エネ水素エネルギーマネジメントシステムの導入

(1) 事業概要

主な事業者	トヨタ自動車九州（株）、豊田通商（株）、九電テクノシステムズ（株）、福岡県
事業地	福岡県宮若市
施設名称	トヨタ自動車九州（株）宮田工場
主に利用する再・未 利用エネルギー	太陽光発電、水素利用
主な導入設備	太陽光発電設備 500kW 水素製造装置 24Nm ³ /h 純水素燃料電池CGS 7.4kW
事業期間 (稼働予定)	2016年7月～2018年3月 (2018年2月稼働開始)
省エネ効果見込	省エネ量：16kL/年、省エネ率：48%

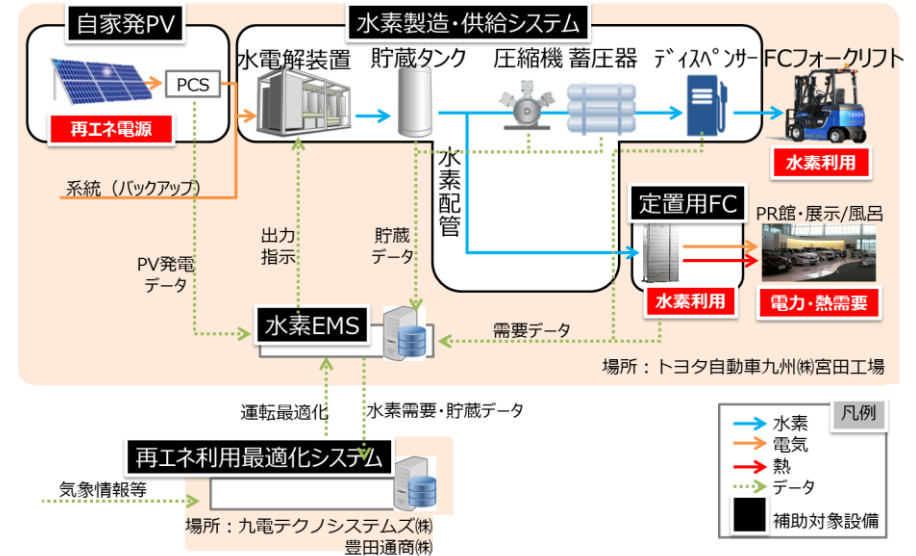
(2) 事業の特徴

- 自家発PV電力により水素を製造、生産工程（FCフォークリフト）やPR館（純水素燃料電池）で利用する水素エネルギーマネジメントシステムを構築。
- 水素利活用の拡大とともに、再エネの更なる活用拡大を通じた地産地消型エネルギー構造確立を目指す。

(3) 導入効果

- 従来方式の電動フォークリフト、系統電力等と比較して、約5割の省エネ・CO2削減効果を見込む。
- 敷地内PR館で本事業状況・成果等の一般への展示・PRを計画するとともに、将来的に横展開・ネットワーク化により、再エネ余剰電力等地域課題への対処にも貢献する計画。

(4) 事業イメージ



(5) 面的利用概要

